

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	県立広島大学
設置者名	公立大学法人県立広島大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計			
人間文化学部	国際文化学科	夜・通信	12		2	14	13	—	
	健康科学科	夜・通信			2	14	13	—	
経営情報学部	経営学科	夜・通信				2	14	13	—
	経営情報学科	夜・通信				2	14	13	—
生命環境学部	生命科学科	夜・通信			2		14	13	—
	環境科学科	夜・通信					14	13	—
保健福祉学部	看護学科	夜・通信				2	14	13	—
	理学療法学科	夜・通信				2	14	13	—
	作業療法学科	夜・通信				9	21	13	—
	コミュニケーション障害学科	夜・通信				4	16	13	—
	人間福祉学科	夜・通信			2	14	13	—	
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/uploaded/attachment/13913.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	なし
(困難である理由)	なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	県立広島大学
設置者名	公立大学法人県立広島大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公表方法：

<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/yakuinjyouhou.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	平成31年4月 ～令和3年3月	組織運営体制への チェック機能
(備考) 2020年4月1日までに、複数の学外者である理事の選任を確実に実施する。 (理事の定数を増員するための、公立大学法人県立広島大学の定数の一部を変更する議案を、令和元年広島県議会6月定例会に提案し可決された。今後、令和元年度内に総務大臣及び文部科学大臣の認可を受ける予定。)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	県立広島大学
設置者名	公立大学法人県立広島大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) すべての学部等において、毎年度開講する授業科目のコースカタログ情報及びシラバスを作成し、ホームページにより公表している。 なお、シラバスには、授業の形式・方式、授業の目標とカリキュラム上の位置付け、授業の内容、成績評価の方法、テキスト・参考文献、履修上のアドバイス・禁止行為、各回の授業計画(内容及び準備学修)等を、授業科目名、担当教員氏名、研究室の場所、連絡先、単位数(時間数)、必修・選択の別、履修要件、免許等指定科目の有無と併せて掲載している</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 5 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること → コースカタログ</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績評価において、学期中や学期末に行うレポート提出・プレゼンテーション・筆記試験・実技試験等に加え、授業への能動的な参加度や貢献度を教員による観察又は学生相互の評価等の方法を用いて、総合的に評価し、合格と判定された者に単位を付与している。 なお、卒業要件単位として、卒業論文や専門演習(ゼミ)を課している学部がある。</p> <p>※各授業科目の評価方法については、シラバス内に記載している。 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 5 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること → コースカタログ</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学生の学習意欲を高めるとともに、教育の質保証と学生支援に資することを目的としてGPA（グレード・ポイント・アベレージ）を導入し、指標をホームページにより公表している。</p> <p>GPAは、各学部等において5段階評価によって成績認定される授業科目（他学部履修科目を含む。）であって、卒業要件に算入できる授業科目等に導入し、学期GPA及び通算GPAを算出している。</p> <p>また、各学部教授会等においてGPC（グレード・ポイント・クラス・アベレージ）を用いて成績分布状況を学部等において共有するとともに、学期GPAが一定の数値未滿となった学生に対しチューター等により注意・指導を行っている（状況により保護者同席）。</p> <p>なお、GPAを記載した成績通知書について、学生の保護者に対しても通知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html</p> <p>→ 6 学修の成果にかかる評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること</p> <p>→ 学修の評価に関する評価基準</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学則において卒業に係る認定要件を次のとおり定め、ホームページにより公表している。</p> <p>また、学則の規定に従い、毎年3月（秋季卒業の場合は9月）の教授会等において、当該要件に基づく卒業認定に係る判定を行っている。</p> <p>1 修業年限 原則、4年以上在学すること（休学の期間は在学期間に含まない。）。</p> <p>2 卒業必要単位 学科の授業科目区分ごとに、所定の単位（124単位）を修得していること。</p> <p>3 在学年限 原則、在学できる最長年数は8年（休学の期間は含まない。）</p> <p>※転入学、編入学又は再入学を許可された者については、別の取扱い</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html</p> <p>→ 6 学修の成果にかかる評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること</p> <p>→ 卒業・修了の認定に当たっての基準</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	県立広島大学
設置者名	公立大学法人県立広島大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/46/09-zaimuinf.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/46/09-zaimuinf.html
事業報告書	http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/gyomureports.html
監事による監査報告(書)	http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/46/09-zaimuinf.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:公立大学法人県立広島大学 平成31年度計画 対象年度:31年度)
公表方法: http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/plan.html
中長期計画(名称:公立大学法人県立広島大学 第3期中期計画 対象年度:平成31年度~令和6年度)
公表方法: http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/chu-keikaku.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/ninshou.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.pu-hiroshima.ac.jp/uploaded/attachment/11781.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間文化学部
教育研究上の目的 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/mokuteki.html
<国際文化学科> 自国の文化についての知識と敬愛の心を持ち、他国の文化、特に英米や東アジアの文化に対する理解を深め、問題解決能力・外国語運用能力・コミュニケーション能力の向上に努めることにより、人々の幸福と世界の平和のために行動する人材を育成する。 <健康科学科> 真に豊かで健康な人間生活の実現を目指し、長寿社会におけるクオリティ・オブ・ライフの向上や生涯にわたる健康の維持・増進と心身の調和的発達等の問題について、積極的な取り組みができる人材を育成する。
卒業の認定に関する方針 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 6 学修の成果にかかる評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること → 卒業・修了の認定に当たっての基準
「地球的規模での共生」の視点から人間と社会のあるべき姿を探り、多様な文化の理解と健全な生活を営む知性・先見性・専門知識と、柔軟で複眼的な思考力を身につけ、地域社会に貢献する人材に対し学士を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 5 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること → 教育課程の体系・内容説明（カリキュラム）
学科の特性を活かして人間の文化・生活・身体・健康の諸課題を総合的に捉える「人間文化学」の構築に向けて、ゼミ形式の授業と徹底した語学教育、基礎から応用までの多くの実験・実習科目を配置している。 文系的あるいは理系的発想だけでは解決困難な課題が増えている現在、柔軟で複眼的な思考力を身につけ、自ら挑戦する資質を育むため、常にカリキュラムの検証を行い、最新・最善のカリキュラムを提供する。 学修成果の評価については、能動的な学修を促す手法を積極的に導入し、適正な学修時間を確保した上で、コースカタログ・シラバスに配点割合を示した多面的な評価基準により厳正に行う。
入学者の受入れに関する方針 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 4 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

→ 入学者に関する受入方針
文化と社会、生活・身体・健康（以下「文化等」という。）に関する基礎学力（知識・技能）、文化等に係る諸問題について論理的に思考し、様々な観点から多面的に考察し、自分自身の考えをまとめ表現する力（思考力・判断力・表現力）、文化等の諸課題に関心を持ち、積極的に取り組む意欲と、協力して学修を進めていこうとする態度（主体性・協働性）を持つ、世界の様々な文化を理解し、対等な立場で他者と協力し合える人、真に豊かで健康な生活の実現を目指し、生涯にわたる健康の維持・増進に積極的に取り組む人を求めている。

学部等名 経営情報学部
教育研究上の目的 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/mokuteki.html
<p><経営学科> 組織の経営を効率化するための高度な専門的知識や科学的技法を研究し、組織が直面する諸問題の解決を図るとともに、新産業構造の構築、新規事業の創出を推進しうる実践力のある人材を育成する。</p> <p><経営情報学科> 組織の経営戦略に基づき、情報化に対する企画・設計・システム運営を立案し実現できる情報化推進者、及び情報学の高度な知識や技法を習得し情報処理システムを開発できる情報技術者を養成するとともに、自ら課題を発見し解決できる能力を持つ人材を育成する。</p>
卒業の認定に関する方針 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 6 学修の成果にかかる評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること → 卒業・修了の認定に当たっての基準
企業や行政、NPO等の組織が直面する現実の諸課題をその本質までさかのぼって、経営学と情報学の双方の視点から学祭的に分析し、学問的に発展させ、その成果を社会に活かすことのできる人材に対し学士を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 5 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること → 教育課程の体系・内容説明（カリキュラム）
<p> Semester制と GPA 制度の導入、学部共通科目の設定・充実、コア科目・入門的科目の早期履修、履修モデルの具体化、スキル向上のための科目の充実を通して、専門教育課程を編成するとともに、3年次、4年次に「専門演習」を2年間履修して卒業論文（必修）を課す。これらの学修成果を生み出すために、経営学・情報学をベースに2つ以上の分野に強い人材育成が可能となる科目配置を行う。</p> <p>学修成果の評価については、適正な学修時間を確保した上で、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」に対する判断基準を定め、学期中や学期末に行う試験やレポート、授業への取組等に基づいて、総合的かつ厳正に行う。</p>
入学者の受入れに関する方針 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 4 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就

<p>職等の状況に関すること → 入学者に関する受入方針</p>
<p>社会のグローバル化・情報化が進展する中で、企業や行政、NPOなどの組織が直面する様々な課題について、自ら課題を発見し、その課題に挑戦する意欲を持ち、経営と情報の革新（イノベーション）を実現しようとする、最先端の経営学と情報学の修得に熱意を持つ人を求めている。</p>
<p>学部等名 生命環境学部</p>
<p>教育研究上の目的 公表方法：http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/mokuteki.html</p>
<p><生命科学科> バイオサイエンスやライフサイエンス分野の基礎から専門にいたる教育、及び、生命体が持つ多種多様な機能の解明や応用に関わる研究活動を通して、人類社会に役立てる目的意識を持った人材を育成する。</p> <p><環境科学科> 高度な環境科学の知識・技術を習得し、同時に生物、化学、物質科学の基礎知識・技術も併せ持ち、広く人間生活から産業界にわたる各種の環境課題に柔軟に取り組み、問題解明と技術的解決を可能とする人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 6 学修の成果にかかる評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること → 卒業・修了の認定に当たっての基準</p>
<p>医療や薬品の開発、健康の維持や促進、食料生産と食の安全性、環境の保全や修復、環境分析等の分野における問題を科学的な方法で思考・判断する能力を有し、問題を解決するために必要な知識と技能を有し、情報を発信する能力と表現力を兼ね備えるとともに、生命科学と環境科学の知識と技能を総合的に活用することで、周囲と協働しながら様々な問題に主体的に対応できる能力を身につけた人材に対し学士の学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 5 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること → 教育課程の体系・内容説明（カリキュラム）</p>
<p>生命科学と環境科学の両面から社会に貢献するために必要となる知識と技能を効率的に修得できるよう、共通部分となる理系分野の基礎的な内容から、応用生命科学、食品資源科学、環境科学のそれぞれの専門分野の実践的な内容まで、段階的に学修できるように体系的な編成するとともに、より幅広い知識と技能を修得できるよう、両学科及びコースの間で密接に連携したカリキュラム編成としている。</p> <p>学修成果の評価については、各科目において判断基準を設定し、履修者の到達目標を示した上で、学期中や学期末に行うレポート・筆記試験、小テスト、課題や実験のレポート、実技試験等のほか、授業への能動的な参加度や貢献度などを総合的かつ厳正に行う。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 4 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の</p>

<p>数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事 → 入学者に関する受入方針</p>
<p>生命科学と環境科学の課題について柔軟に思考・判断し、問題解決に必要な知識や技能を積極的に学修し、周囲と協働しながらその問題解決に向けて主体的に努力し、解決策を発信していく熱意と行動力を持った人を求めている。</p>

<p>学部等名 保健福祉学部</p>
<p>教育研究上の目的 公表方法：http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/mokuteki.html</p>
<p><看護学科> 保健・医療・福祉の対象となる人々に対し、全人的な対応ができる豊かな人間性並びに看護の専門職業人としての社会的責任の自覚と高度な知識・技術によって広く貢献するとともに、他職種との連携において主体的な役割を果たし、生涯にわたる自己教育力を発揮できる看護師・保健師を育成する。</p> <p><理学療法学科> 理学療法的基本的な知識・技術を修得するとともに、小児から高齢者に至る幅広い年齢層を対象に、先端医療施設における最新治療から在宅医療における生活指導まで、専門職の立場から適切に支援できる包括的な能力を備えた理学療法士を育成する。</p> <p><作業療法学科> 人の作業とその治療的応用に関して包括的に教育し、保健・医療・福祉の分野において、クライアントのもつ医学的問題と作業遂行の問題を適切に解決できるとともに、チーム医療や地域包括ケアシステムを支えることのできる作業療法士を育成する。</p> <p><コミュニケーション障害学科> 人間の行動の中で最も複雑なコミュニケーション行動について、科学的に探求するとともに、多様なコミュニケーション障害に対応できる臨床的能力を修得させ、保健・医療・福祉の分野において、幅広く貢献できる実践力のある言語聴覚士を育成する。</p> <p><人間福祉学科> 人間の福祉を実現する高い水準の知識や優れた実践的技法を修得し、さらに保健・医療の基礎知識や保健・医療スタッフと緊密な連携ができる能力を備え、保健・医療・福祉の分野において、リーダーとして活躍できる社会福祉士・精神保健福祉士を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 6 学修の成果にかかる評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関する事 → 卒業・修了の認定に当たっての基準</p>
<p>保健・医療・福祉（以下「保健等」という。）に貢献する人間性豊かな人材、保健等の総合的実践力を有し、チームアプローチを実践できる人材、保健等の領域において総合的に教育・研究する基礎的能力を備えた人材に対し学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 5 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関する事 → 教育課程の体系・内容説明（カリキュラム）</p>

①全学共通教育科目，②人間と社会生活の理解に関する科目，③保健医療福祉を發展させる科目，④専門領域の基礎となる科目，⑤専門領域特有の科目の5つの科目群で編成している。

専門領域特有の科目について，実習科目では，実践現場における的確な判断力，主体性，創造性などを養う。附属診療センターなどの活用により段階的な実習を取り入れるとともに，教育と実践との密接な連携を図る。また，卒業研究は全学科必修としている。

学修成果の評価については，適正な学修時間を確保した上で，コースカタログ・シラバスに配点割合を示した多面的な評価基準により，学期中や学期末に行う筆記試験・レポート・実技試験等のほか，授業への能動的な参加度や貢献度の観察等の方法を用いて総合的かつ厳正に行う。

入学者の受入れに関する方針

公表方法：

<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html>

→ 4 入学者に関する受入方針及び入学者の数，収容定員及び在学する学生の数，卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

→ 入学者に関する受入方針

保健等の対象となる人々に専門的立場からチームワークを通じて寄与することができるよう，高校で学ぶ基本的知識を身につけ，人に対して関心があり生命に対する倫理観を持った，入学後も生涯にわたり学び続けることができる意欲がある，柔軟性と協調性を有する人を求めている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html>

→ 2 教育研究上の基本組織に関すること

→ 教育研究上の基本組織の概要

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
人間文化学部	—	21人	9人		5人		35人
国際文化学科	—	12人	7人				19人
健康科学科		9人	2人		5人		16人
経営情報学部		16人	10人				26人
経営学科		7人	4人				11人
経営情報学科		9人	6人				15人
生命環境学部		19人	18人		4人		41人
生命科学科		14人	10人		2人		26人
環境科学科		5人	8人		2人		15人
保健福祉学部		35人	21人	19人	16人	4人	95人
看護学科		8人	6人	8人	6人	4人	32人
理学療法学科		8人	1人	1人	4人		14人
作業療法学科		9人		2人	3人		14人
コミュニケーション障害学科		5人	5人	3人	2人		15人
人間福祉学科		5人	9人	5人	1人		20人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
—		96人				96人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://hiris.pu-hiroshima.ac.jp/search/index.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
地域活動を組み込み、主として教室外で行う「行動型学修」と、学修者の知的能動性を揺り動かし深い学びを喚起する「参加型学修」を組み合わせた「能動的学修」を学士課程教育に計画的に導入して全学的に教育改革を進めている。これにより、幅広い教養と高度な専門性を備えた人材を育成し、生涯にわたり学び続ける自律的な学修者「アクティブ・ラーナー」の育成を目指す。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間文化学部	120人	129人	107.5%	480人	539人	112.3%	0人	0人
経営情報学部	100人	106人	106%	400人	457人	114.3%	0人	0人
生命環境学部	165人	173人	105%	660人	682人	103.3%	0人	0人
保健福祉学部	190人	194人	102.1%	760人	782人	102.9%	0人	0人
合計	575人	602人	104.7%	2,300人	2,460人	107.0%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間文化学部	124人 (100%)	11人 (8.9%)	107人 (86.3%)	6人 (4.8%)
経営情報学部	110人 (100%)	1人 (0.9%)	107人 (97.3%)	2人 (1.8%)
生命環境学部	161人 (100%)	11人 (6.8%)	142人 (88.2%)	8人 (5.0%)
保健福祉学部	194人 (100%)	11人 (5.7%)	179人 (92.3%)	4人 (2.1%)
合計	589人 (100%)	34人 (5.8%)	535人 (90.8%)	20人 (3.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進学先：県立広島大学大学院，京都大学大学院，大阪大学大学院，神戸大学大学院，広島大学大学院 他 就職先：(株)マツダ，旭化成(株)，凸版印刷(株)，戸田工業(株)，全日本空輸(株)，カゴメ(株)，大和証券(株)，(株)広島銀行，広島県(行政事務)，広島県(高校教諭)，広島市(行政事務)他				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
人間文化学部	131人 (100%)	114人 (87.0%)	13人 (9.9%)	4人 (3.1%)	0人 (0%)
経営情報学部	115人 (100%)	107人 (93.0%)	3人 (2.6%)	5人 (4.3%)	0人 (0%)
生命環境学部	171人 (100%)	149人 (87.1%)	13人 (7.6%)	9人 (5.3%)	0人 (0%)
保健福祉学部	196人 (100%)	187人 (95.4%)	7人 (3.6%)	2人 (1.0%)	0人 (0%)
合計	613人 (100%)	557人 (90.9%)	36人 (5.9%)	23人 (3.2%)	0人 (0%)
(備考) 学部生：H27 入学者 留年者数のうち13人は、標準修業年限（4年）内に長期間の海外留学により留年となった者である。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

【様式第2号の3より再掲】 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 5 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること → コースカタログ
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

【様式第2号の3より再掲】 公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 6 学修の成果にかかる評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること → 学修の評価に関する評価基準／卒業・修了の認定に当たっての基準				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間文化学部	国際文化学科	124 単位	有	24 単位
	健康科学科	124 単位	有	24 単位
経営情報学部	経営学科	124 単位	有	24 単位
	経営情報学科	124 単位	有	24 単位
生命環境学部	生命科学科	124 単位	有	24 単位
	環境科学科	124 単位	有	24 単位
保健福祉学部	看護学科	124 単位	有	24 単位
	理学療法学科	124 単位	有	24 単位
	作業療法学科	124 単位	有	24 単位
	コミュニケーション障害学科	124 単位	有	24 単位
	人間福祉学科	124 単位	有	24 単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/kouhyou.html → 6 学修の成果にかかる評価及び卒業又は修了の認定に当たつ		

	ての基準に関すること → 学修の評価に関する評価基準 (学生による授業評価アンケート)
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法： http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/general-education/03-classevaluation.html

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： ○県立広島大学大学案内（本学各キャンパスで無料配布） ○ http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/annaipanf.html#jukensei
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
人間文化 経営情報 保健福祉	国際文化 健康科学 経営 経営情報 看護 理学療法 作業療法 コミュニケーション障害 人間福祉	535,800 円	(県内者) 282,000 円 (県外者) 394,800 円	17,000 円	入学者選抜料
生命環境	生命科学 環境科学	535,800 円	(県内者) 282,000 円 (県外者) 394,800 円	17,000 円 15,600 円 1,200 円/月	入学者選抜料 施設費 学生寮使用料(使用者のみ)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>修学支援(チューター制度)</p> <p>学生が安心して登校し、勉学に励むことができるよう、学生生活についての個別指導・助言を行うチューター制度を導入している。チューターは、学科ごとに置き、それぞれ少人数の学生を担当し、授業科目の履修、学修方法、経済相談、交友関係の相談等に応じるとともに、成績交付時に指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援 <p>家庭の経済事情あるいは不測の災害等のため、授業料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀である学生に対し、授業料の減免又は徴収猶予措置を講じている。</p> <p>また、独立行政法人日本学生支援機構や地方公共団体、公益財団法人等の奨学金制度について周知するとともに、必要に応じ説明・相談等を行っている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育 <p>全学共通科目として「キャリアデベロップメント」「キャリアビジョン」「インターンシップ」「ライフデザイン」の4科目を配置するとともに、キャリア形成支援活動として「就職ガイダンス」「大学院進学相談会」「学生による企業調査」「各種資格取得線講座」等を提供する、体系的な「学生支援型キャリア教育プログラム」を実践している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職、進学指導 <p>キャリアセンターを設置し、キャリアセンター教職員、キャリアアドバイザー等により、卒業後、就職を希望する学生に対し、法令に基づく職業紹介を行うとともに、進学を希望する学生に対し、進学可能な大学院等の相談に応じている。</p> <p>また、求人情報や企業情報、先輩の活動状況等を学生に対し、適宜情報を提供するとともに、就職関係図書をキャリアセンター・図書館に配架している。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康の支援(学生相談室・保健室) <p>学生が日頃抱える悩みや問題について、相談・助言し、学生生活を円滑に過ごせるよう援助するため、各キャンパスに学生相談室を設置し、学生カウンセラー(学生相談員)を配置している。チューター等と連携しながら、学業、性格、適性、進路、対人関係、いじめ、セクシャルハラスメント、経済的問題等あらゆる相談に対応するとともに、心理検査等も受検可能としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生生活が健康で快適に送れるよう、学校保健安全法に基づく健康診断(毎年1回の定期健康診断と実習等により必要と認められる場合の健康診断)を、該当学生全員に対し実施している。また、学校医(非常勤)、看護師免許を有する職員を保健室に配置し、心身の健

康に関する相談や学内において発病又は負傷した場合の処置を行うとともに、必要に応じ医療機関の紹介等を行う。

・ 障害者に関する支援

学生生活に当たり、心身の障害により、修学上、長時間又は一時的に相当な制限を受ける学生で、支援を受けることを希望する者に対し、相談・面談等を通じて、可能な範囲で様々な配慮を行う。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/annaipanf.html>